

支援員に求められる 倫理と基本姿勢

明治学院大学

社会学部
新保美香

はじめに

- 「支援員に求められる倫理と基本姿勢」は、生活困窮者自立支援にかかわるすべての職員、支援員が、実践の礎として備えておくべき行動規範とそれを実現するためのあるべき姿を示したものです。
- 「3つの倫理と8つの基本姿勢」をよりよい実践の拠り所として常に意識し、日々の業務に臨んでください。

支援員に求められる 倫理と基本姿勢

- 支援員に求められる「3つの倫理と8つの基本姿勢」は、『生活困窮者自立支援法自立相談支援事業従事者養成研修テキスト第2版』（中央法規出版、2022年）のP41～51に記載されています。

ぜひ、テキストに記載されている内容を、
しっかり読んでいただきたいと思います。
その前に、ここで確認してみましょう！



問 1 : 「3つの倫理」とは？

➤ 次の空欄に、
「3つの倫理」を記入してください。

--	--	--

「倫理」として、今、頭に思い浮かんだ
キーワードを記入してください。



問 2 : 「8つの基本姿勢」とは？

1	4	6
2		7
3	5	8

「3つの倫理」

1

権利擁護

- ①尊厳の確保（保持）
- ②本人の主体性の確保

2

中立性・ 公平性

3

秘密保持



いずれも、
信頼される相談支援を実現するために、
とても大切なことばかりです。

「8つの基本姿勢」

<u>□ 1. 信頼関係の構築</u> □ 受容的対応 □ 傾聴 □ 感情表現を手伝う	<u>□ 4. 家族を含めた支援</u> □ 家族全体を捉える □ 家族も支援の対象 □ チーム支援の必要性	<u>□ 6. チームアプローチ の展開</u> □ 連携のとれたチーム □ 支援員は調整役 □ 利用者の了解を得る
<u>□ 2. ニーズの的確な 把握</u> □ ニーズは解決すべき本質的な課題 □ 多面的な理解が重要 □ ニーズ把握は丁寧に	支援にかかわる すべての人が 心にとめて おきたい 重要な内容です。 	<u>□ 7. さまざまな支援の コーディネート</u> □ ニーズに即した調整 □ 多くの選択肢の提示 □ 丸投げしない支援調整
<u>□ 3. 自己決定の支援</u> □ 自己選択による 自己実現を支援 □ エンパワメント アプローチ □ 強みに着目した支援	<u>□ 5. 社会とのつながり の構築</u> □ 社会参加は自立の土台 □ 本人を支える環境整備 □ 仲間や居場所の意義	<u>□ 8. 社会資源の開発</u> □ 地域状況の理解 □ 既存の資源の理解 □ 新たな資源の創設

問3 事例「猫の相談」

「猫の飼い方を
教えてください...」
と、相談者が窓口
に訪れました。
あなたは、支援員
として、どのよう
に対応しますか？



どのように対応しますか？

× 他機関を紹介...

○ 話を聴いたら...



理念・基本倫理・基本姿勢を 踏まえた実践のために...

1. 制度ではなく「人」を起点とした実践を！
2. 理念・倫理・基本姿勢を常に意識にしよう。
3. 謙虚な専門家（プロフェッショナル）を目指そう。
4. 相談者から学び、相談者とともに歩みをすすめよう。

理念の実現を目指し、
自分自身を磨き、相談者とともに、
チームで実践していきましょう！

